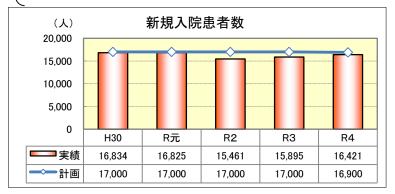
【参考資料】 各種指標の推移

入院関連の指標

- 〇昨年度と比較し、新規患者数及び延入院患者数は増加したが、コロナ禍前の水準には戻っていない。
- ○救急車受入台数は、救急医療専用システムを導入するなどの取組等により増加した。

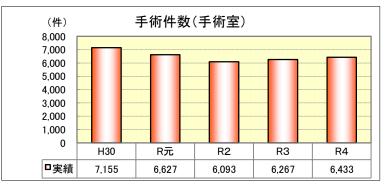






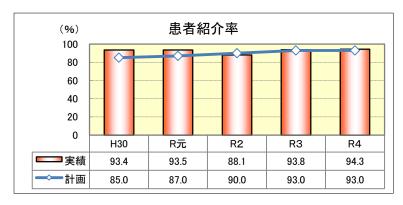




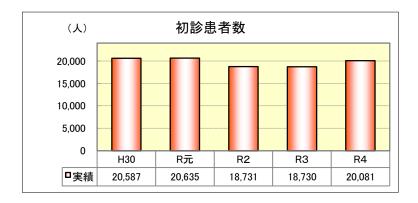


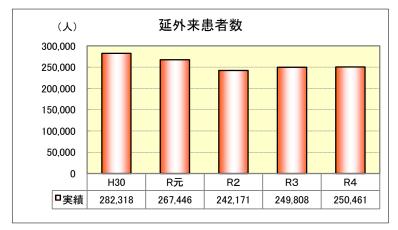
外来関連の指標

〇地域の医療機関との連携強化に取り組み、紹介率・逆紹介率ともに高い水準であるが、初診患者数及び延外来患者数はR2からの新型コロナの影響により減少し、コロナ禍前の水準まで回復していない。





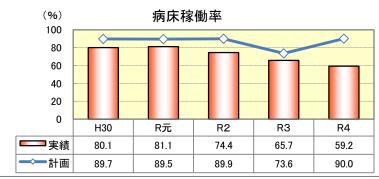


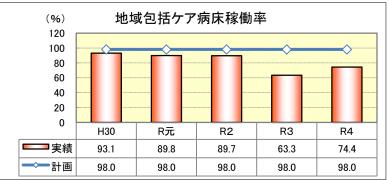


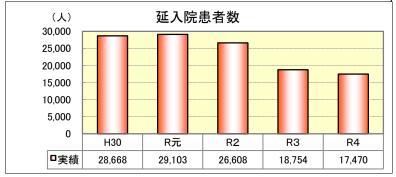
入院関連の指標

- 〇新規入院患者数及び延入院患者数等は、R2からの新型コロナの影響により減少している。
- 〇救急搬送受入件数は、コロナ禍前の状況まで持ち直したものの、地域包括ケア病床稼働率及び手術件数はコロナ禍前 の水準に戻っていない。

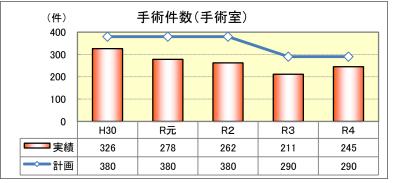










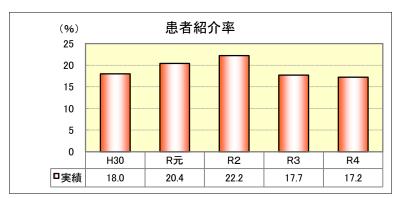


外来関連の指標

〇入院関連指標と同様に、R2からの新型コロナの影響により減少しており、コロナ禍前の水準に戻っていない。

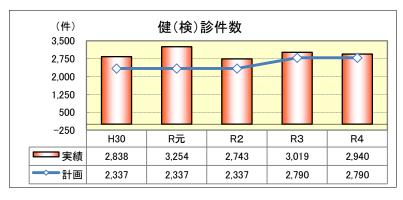












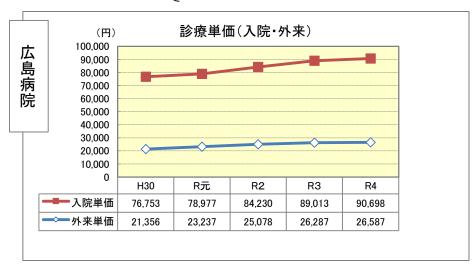
各指標の推移 (広島・安芸津病院)

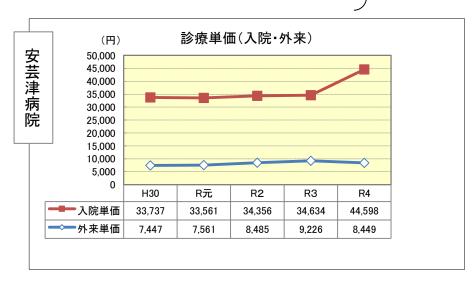
収支関連の指標 (R4は見込み)

(1)診療単価

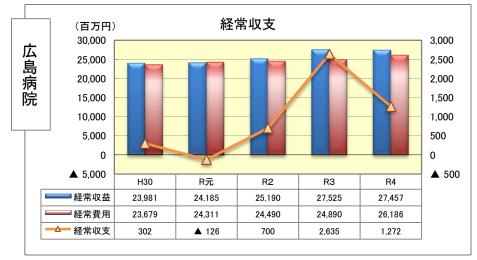
○診療単価は、増収対策等の取組により、両病院ともに向上している。

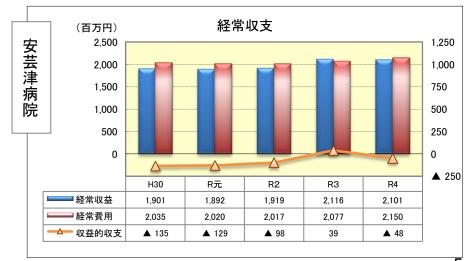
○経常収支は、新型コロナ関連補助金を受け入れたことなどにより広島病院は黒字を維持した が、安芸津病院は赤字となった。





(2)経常収支





収支関連の指標 (R4は見込み)

〇収益的収支及び資金収支は、広島病院は黒字を維持したが、安芸津病院は赤字となった。

(3) 収益的収支





(4)資金収支



